

詳細事例報告例

更新審査の詳細事例報告書作成の際は、以下の点にご注意くださいますようお願いいたします。

領域	外来・在宅における成人長期（5ヶ月以上）観察例	表題	事例を一言でイメージできるようなタイトルを心掛けてください。
表題	夫の束縛と夫の末期癌・認知症に悩まされた女性	事例発生時の勤務先名	施設名は入れず、施設種別のみ分かる程度の情報としてください（病院か診療所かなど）。また、診療施設のコンテキストが分かるように、大都市、地方都市、過疎地域のいずれに位置するかも示してください。
事例発生時の勤務先名	●●病院 内科	60代女性	実践した具体的内容 症例の場合は、患者の年代は〇〇歳代、などややぼかした表現が望まれます。
60代女性 既往歴：高血圧、不眠症、筋緊張 内服：エナラプリル、アムロジピ 酒：機会飲酒、タバコ：30歳で禁煙 と二人暮らし、36歳	201x年10月に心高部痛で夫が救急搬送されることが判明した。10月末に開腹手術で右入院中は毎日夫の世話のために通院しなければ消化に悪そうな好きな唐揚げなどを買って死なせようとしているのか」と言われたり立つけれど、夫も体調も悪いようで心配もってきているようで介護保険の申請を勧められ拒否された。 翌年3月下旬に外来受診時、夫は薬を飲む事を知らず、認知症であると確信した。夫と出来ている振りをするので夫の認知症の所と相談を受けた。夫の事を一度ソーシャルを取り付けた。しかし面談したものの他人受け入れは拒否された。	実践した具体的内容 年号は西暦で、20xx年のように下2ケタについてはxで表示してください。月は季節が分かるように実際そのまま、日は**のようにアスタリスク2ケタ（日付が1ケタでも2ケタで構いません）としてください。 事例発生時期の次の年は20xx+1年などと表現してください。また、正確な日付は入れず、〇月、のような表現にとどめてください。	
1.内容	翌年3月下旬に外来受診時、夫は薬を飲む事を知らず、認知症であると確信した。夫と出来ている振りをするので夫の認知症の所と相談を受けた。夫の事を一度ソーシャルを取り付けた。しかし面談したものの他人受け入れは拒否された。	参考文献 本文中のどこで参照すべきかを※1、※2の形で示してください。 2.考察 妻に依存的で束縛している夫とそれに答えてしまっている妻の「役割期待」のズレを修正しようと試みた（※2）。初めは妻が動き出ること、妻が家事を全て行う家政婦のような役割から脱する事を検討した。しかし、夫が転移を伴う結腸癌である事がわかり、夫の病気を心配する妻という役割へと変わった。夫も死への恐怖を妻にしか打ち明けられず、夫への心配が、夫への不満の軽減につながり、強い共依存関係になっていった。今回、パートナーと会うこともできなかったが、共依存関係の軽減に医療者が入ることで今後も改善のサポートができるのではないかと考える。 文献 ※1 水野広子 対人関係療法で改善する夫婦・パートナー関係 創元社 2011年 p.32-40 ※2 水野広子 対人関係療法で改善する夫婦・パートナー関係 創元社 2011年 p.84-106	

※ 「実践した具体的内容」と「2.プライマリ・ケア機能に関する考察」は1400字～2800字以内に収めてください。

※ 図表は、1事例につき3点を上限とします。本文中に（図1）、（表2）のように示してください。